



農山村の地域資源を次世代に

『都市と農山村をつなぐボランティア活動』

とちぎ 夢 大地応援団



カレッジ
活動



はばたけ夢大地
第14号 2013/2

とちぎ夢大地応援団事務局
(公財)栃木県農業振興公社
栃木県農政部農村振興課

— 今年初めて取り組んだ地区 —

大柿の郷を守る会

NPO法人ふるさと

(栃木市 大柿地区)



9月22日
実施

晴天の中、夢大地応援団員・森林ボランティア等16名と地元大柿の郷を守る会・NPO法人の方々、関係者の総勢45名が参加しました。

自然観察や体験活動用施設づくりの第一歩としてイノシシの住処となっている耕作放棄地の刈り払いと遊歩道づくり、倒木片付けに汗を流しました



久那瀬和台沢

里山保存会

(那珂川町 久那瀬地区)



9月29日
実施

夢大地応援団員13名と地元久那瀬地区の皆さん17名、那珂川町役場・関係者9名が参加して、山間部の荒廃した棚田の刈り払いを行いました。

気温30度を超す猛暑の中、全員草刈機を使って背丈ほどもある雑草と闘い、2時間余りで見違えるほどきれいに刈り払い、棚田が復元しました。



— 自主企画(継続)地区 —

土呂部自治会

(日光市 土呂部地区)



9月2日
実施

夢大地応援団員と宇都宮大学のサークル「さとびと」の学生等11名が参加して耕作放棄地の刈り払いと河川の清掃を行いました。

雑草が繁茂しているものの草刈機の経験者により3時間で予定面積を完了しました。また河川清掃は投棄された空き缶等を拾い集め、ゴミのない清流を取り戻しました。



和田用水 ホタルの里の会 (鹿沼市 中粕尾地区)

9月30日
実施

7回目となる「夢大地グランドワークinかすお」は地元関係者45名と夢大地応援団員・鹿沼南高生等25名が参加しました。ホタルが生息する和田用水の清掃と転作田(40a)に小松菜の種をまきました。

作業後は昼食・交流会を行い、最後に全員で「ふるさと」を合唱し思い出深い一日となりました。



里山大木須を 愛する会 (那須烏山市 大木須地区)

10月21日
実施

大木須地区の活動は4年目を迎えるましたが、今年は新たに発足した「里山大木須を愛する会」が実施主体です。

雲一つ無い快晴の中、毎年参加のナルク栃木をはじめ夢大地応援団員、宇都宮大学教員・学生等22名と地元の方々25名が、一面にセイタカアワダチソウの黄色の花が咲き乱れている耕作放棄地の刈り払いを行いました。



国見自治会・ 国見棚田保全組合 (那須烏山市 国見地区)

11月10日
実施

本州北限のみかん産地で日本の棚田百選に選ばれていますが、高齢化等により保全管理が厳しくなっています。

応援団活動は8年目となります。自治会員7名に加え、ナルク栃木をはじめ宇都宮大学教員、夢大地応援団員など29名の応援を得て、棚田の畦畔や水路廻りの雑草、隣接地の雑木竹などの刈り払い・伐採を行いました。



虹色の里

あじ彩議会・茂木町

(茂木町 河又地区)

11月10日
実施

6年目を迎える今年の活動は夢大地応援団員、バンビーニゆめ保育園関係者、宇都宮白楊高教諭・生徒、地元関係者の42名が参加しました。

作業は農村レストラン「虹色の里あじ彩」の敷地の一部を芝生にするための砂利除去、花壇フェンス等の清掃、桜やあじさいの植栽、遊歩道の草刈り等の作業に汗を流しました。



フェンスの雑草とり



砂利の除去

佐野市 下秋山町会

(佐野市 下秋山地区)

11月10日
実施

3年目となる今年の活動は夢大地応援団員・森林ボランティア・関係者など24名が参加し、地元秋山町会の方21名とイノシシの住処となっている耕作放棄地の刈り払いを行いました。

交流会の席上「この活動のおかげでイノシシ害が無くなってきた。また作物を栽培する」との言葉に、ボランティアの方々は心強くしていました。



篠竹伐採



イノシシの住処の刈り払い

文挟ため池ふれあいの里

づくり協議会

(日光市 文挟地区)

11月18日
実施

6年前に夢大地応援団を受け入れて以来継続して、ため池にたまつた泥の除去と周辺の草刈り、休耕田(60a)への菜の花の種まきを行ってきました。

今年もナルク柄木をはじめ応援団員と関係者22名を迎え、地元自治会68名の総勢90名の方々が参加して、公園の保全活動を行いました。



水路の草刈り



種まき前の清きり

— カレッジ活動 —

2年目を迎えた「とちぎ夢大地応援団カレッジ活動」は、TBC学院宇都宮本校の学生を対象に3回開催しました。第1回は鹿沼市中粕尾地区、第2回は茂木町木幡地区、第3回は佐野市下秋山地区で実施し、和田用水ホタルの里の会、たかばたけグリーンツーリズム協議会、佐野市下秋山町会の方々にお世話になりました。

第1回 (7月12日 鹿沼市 中粕尾地区)



第2回 (11月3日 茂木町 木幡地区)



第3回 (2月3日 佐野市 下秋山地区)



カレッジ活動に参加した感想

(学生) 普段経験できないことを体験し、ボランティア精神を学び、成長したと思います。

(先生) 地域の問題を、自分たちが経験して、自分たちが何をするかを学ぶことができた。機会を与えていただき感謝します。

— 実施団体・ボランティアの紹介 —

和田用水ホタルの里の会

会長 若林 正夫さん



春に菜の花交流会、夏はホタル鑑賞会、秋には夢大地グランドワークinかすおを開催しています。

地域の資源はみんなで守っていかなければなりません。

よそからの新しい風・

パワーが入ってくると私たちのエネルギーになります。農村を訪れる方にはすばらしい自然、のどかな風景を十分に味わって頂きたい。(カレッジ活動で)

NPO法人 ナルク栃木

走出 政視さん

鈴木 忠男さん



(とちぎ夢大地応援団活動の強力助っ人)

数年来、ナルク栃木の事業の一環として、夢大地応援団活動に参加してきました。今年度は毎年参加している那須烏山市大木須、国見、日光市文挟で活動しました。今後も体力の続く限り活動を続けます。

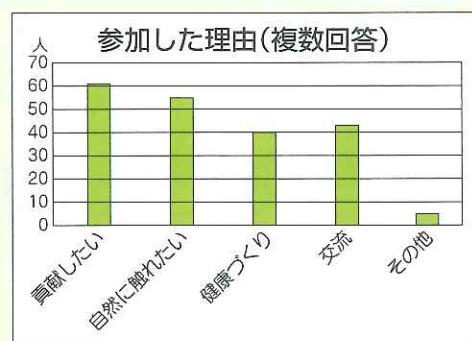
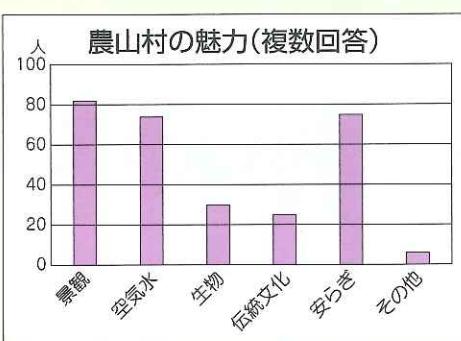
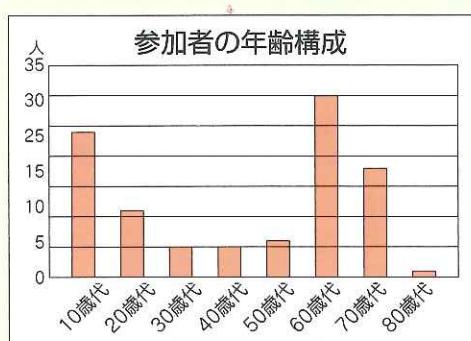
佐野市 飯田 哲夫さん

(昨年は佐野市下秋山、船越に参加。今年は日光市土呂部、栃木市大柿に参加。個人的にも活動中)

自分には小さなことしかできませんが、継続的に支援したいと思っています。福祉的な目的だけの活動で終わることなく、既にあるものを上手に組み合わせて何らかの形で地域の活性化につながる方向にすすむとうれしいです。

— アンケート調査 ご協力ありがとうございました —

夢大地応援団活動時に97名のボランティアの方から御協力いただきました。アンケート集計から抜粋しますと、参加者の年齢は60歳代が最も多く、10歳から80歳までの幅広い年代の方が参加されています。「農山村地域の魅力は」の間に「美しい景観を見ることができる」、次に「心のやすらぎ」「きれいな空気や水を感じる」でした。「ボランティア活動に参加した理由」では、「農村の環境保全に貢献したい」が最も多く、次に「自然に触れたい」、交流ができるの順でした。なお参加してみたい協働活動は、水路清掃や耕作放棄地の刈り払いなど農業を支える作業を希望されています。今後も活動への参加よろしくお願ひします(下図参照)。



◎活動の詳細は農業振興公社ホームページ（とちぎ夢大地応援団の案内）でご覧ください。

◎とちぎ夢大地応援団活動は、県と農業振興公社が募集・活動の支援を行っています。

とちぎ夢大地応援団事務局

(公財)栃木県農業振興公社

〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13

TEL 028-648-9511 FAX 028-648-9517

栃木県農政部農村振興課

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20

中山間地域担当

TEL 028-623-2334 FAX 028-623-2337

<http://www.tochigi-agri.or.jp/yumedaichiouendan/index.html>

とちぎ夢大地応援団



検索